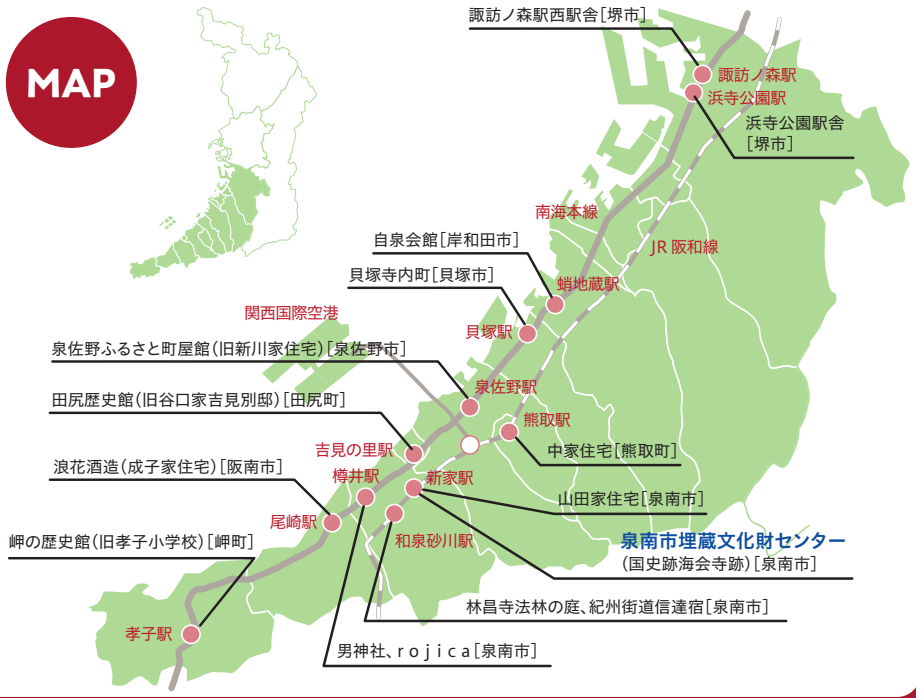
たてもの御財印めぐり

「たてもの御財印めぐり」とは、泉州地域で大切にされてきた文化財をめぐり、地域の人たちとふれあうことで、「泉南らしさ」を楽しむローカルな旅のこと。レトロな洋館や風格ある古民家など、歴史的建造物をめぐるオトナの遠足です。

（「御財印」の頒布にかかる費用は文化財の継承のために活用されます）

MAP



財が入った福袋に蛸模様の瓦のへたがついたお茄子の形。
「文化財」と泉州を象徴する「水なす・たこ・瓦」が融合。
財とお茄子で「財を成す」ともかけています。

御財印帳

御財印スポットでお渡し

めぐってもらえる御財印（15カ所）

御財印スポットでお渡し

めぐってもらえる
御財印バッジ（6カ所）

御財印帳を持って、泉南市内の御財印スポットをめぐると、「御財印バッジ」がもらえます。
すべて集めて泉南市埋蔵文化財センターに来館すれば
「国史跡海会寺跡オリジナルキーホルダー」か
「むかしの組みひもづくり体験」のいずれかひとつを
プレゼントいたします。

国史跡海会寺跡
オリジナルキーホルダー

いずれかひとつ

むかしの組みひもづくりが体験できる
（ミサンガを作ります）

感染症拡大防止のため事業内容を変更する場合があります。
詳しくは「大阪文化財ナビ」HPでご確認ください。

〔主催〕泉南市教育委員会
〔企画支援〕大阪府登録文化財所有者の会
〔問合せ〕泉南市埋蔵文化財センター
〒590-0505 大阪府泉南市信達大苗代 374-4
メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp
連絡先：072-483-6789　ファックス：072-483-7089

豪商食野家の「いろは蔵」や社寺、民家が建ち並ぶ佐野町場の中にある。18世紀末、醤油業を営むために建てられた。市民活動の場「泉佐野ふるさと町屋館」として活用されている。

泉佐野ふるさと町屋館（旧新川家住宅）

一般公開　市指定文化財

泉佐野市本町 5-29
（南海線「泉佐野駅」下車徒歩 10 分）
【休館日】年末年始

扇形の窓を並べるなど特徴的なデザイン。正面上方にはステンドグラスがはめられ、浜寺から淡路島にむかってのかつての海岸の様子がデザインされている。地域住民が運営する多目的スペースとして活用されている。

諏訪ノ森駅西駅舎

一部公開　国登録文化財

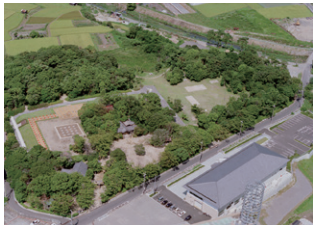
堺市西区浜寺諏訪ノ森町 2 丁 78
（南海本線「諏訪ノ森駅」すぐ）
【休館日】不定休

江戸時代の庄屋屋敷が今も受け継がれている。風格のある主屋をはじめ米蔵・土蔵・表門・長屋門・土塀などの8件が国登録有形文化財。毎月第4日曜日（12月を除く）が一般公開日。

山田家住宅

一部公開（公開日のみ）　国登録文化財

泉南市新家 3148
（JR 阪和線「新家駅」徒歩 4 分）
〔ご注意ください〕御財印の進呈は毎月第 4 日曜日



飛鳥時代創建の古代寺院跡。創建時の軒丸瓦（重要文化財）の同笵関係から、当時の政治中枢にとって重要な地域だことがわかる。出土品は隣接する埋蔵文化財センターで展示。

一般公開　国史跡

泉南市埋蔵文化財センター（国史跡海会寺跡）

〔御財印の進呈場所〕泉南市埋蔵文化財センター
泉南市信達大苗代 374-4（JR 阪和線「新家駅」徒歩 15 分 ）
【休館日】土・日曜日、祝・祭日、年末年始

紡績王と言われた谷口房蔵の別邸。大正12年（1923）築の洋館は煉瓦造り二階建。ステンドグラスやタイル貼りの壁紙に西陣織を使用するなど見所が多い。現在耐震工事中のため休館。

田尻歴史館（旧谷口家吉見別邸）

一般公開　府指定文化財

〔御財印の進呈場所〕田尻町立公民館
泉南郡田尻町嘉祥寺 1120-2（南海線「吉見ノ里駅」下車徒歩 7 分）【休館日】水曜日、祝日、年末年始

辰野片岡事務所設計の木造平屋建ての駅舎。海水浴場や高級住宅地の玄関口として、浜寺地域の変遷と歴史を見守ってきた。ハーフティンバーのデザインが非常に美しい。地域住民が運営する多目的スペースとして活用されている。

浜寺公園駅舎

一部公開　国登録文化財

堺市西区浜寺公園 2-188
（南海本線「浜寺公園駅」すぐ）
【カフェ定休日】火曜日、年末・年始

行基開山の真言宗の古刹。江戸初期から中期にかけて建立された。重森三玲作の「法林の庭」は、中央には本尊石を置き、全体で極楽浄土を具現するという意図によって作庭。当初は杉苔の築山に石組の庭であった。

林昌寺法林の庭

一般公開

泉南市信達岡中 395
（JR 阪和線「和泉砂川駅」徒歩 20 分 ）

中世は京から熊野三山への参詣道「熊野街道」の宿場町、近世は「紀州街道」の宿場町として発展。泉南地域特有の妻入りの民家が今も残る。王子跡や、常夜灯や地蔵などが今も残り、散策すると当時の雰囲気が楽しめる。

紀州街道信達宿

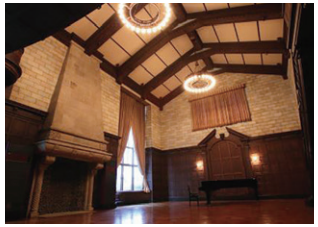
（熊野街道 信達市場・牧野のまちなみ）
〔御財印の進呈場所〕泉南市観光案内所
泉南市信達牧野395-4（JR阪和線「和泉砂川駅」下車徒歩3分）

江戸時代、岸和田藩の七人庄屋をつとめた中家の屋敷。入母屋造り、茅葺き、妻入りで、周囲に本瓦葺きの庇をめぐらす。主屋は江戸時代初期の建築とされ、土間は、近畿でも最大級。

中家住宅

一般公開　重要文化財

泉南郡熊取町五門西 1 丁目 11-18
（JR 阪和線「熊取駅」から南海バスで 「五門」バス停下車徒歩すぐ）【休館日】水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、1・2・8 月は平日も休館



昭和7年（1932）に岸和田紡績の創業者寺田甚与茂を記念して建てられた。鉄筋コンクリート2階建、列柱を配したスパニッシュ様式で、内装も豪華。現在は文化施設として活用されている。

岸和田市立自泉会館

一般公開　国登録文化財

岸和田市岸城町 5-10（南海本線「蛸地蔵駅」下車徒歩 9 分）
【休館日】月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
貸館中は内部見学不可の場合あり。

『延喜式神名帳』にみえる「男神社二座」に比定されており、記紀の神話の舞台とされる。17世紀中頃に建てられた本殿、一間社流造の末社若宮神社は大阪府指定有形文化財。拝殿及び幣殿、透塀、旧拝殿及び幣殿（社務所）は国登録有形文化財。

男神社

一部公開　府指定文化財　国登録文化財

泉南市男里 3-16-1
（ 南海本線「樽井駅」下車 徒歩 20 分）

大正時代に「西野紋羽」として創業した「西野紡績」の工場を、リノベーションしたカフェ。床の機械跡や天井の滑車などにかつての面影が色濃く残る。泉南市は、昭和初期まで煉瓦生産が盛んで、煉瓦が見え隠れする景観が見どころだ。

rojica

公開（営業日のみ）

（赤煉瓦 Rui ）泉南市樽井 4-34-37
（ 南海本線「樽井駅」下車 徒歩 8 分）【定休日】水曜日

マナーを守って文化財を守ろう！

店舗や住居、レンタルスペース等として活用されているものを、所有者様のご厚意で紹介させて頂いています。マナーを守って見学してくださるようお願いします。

感染症拡大防止のため事業内容を変更する場合があります。
詳しくは「大阪文化財ナビ」HPでご確認ください。

室町時代から江戸時代にかけて願泉寺を中心に発達した寺内町（自治集落）で、当時のまちなみが今も残る。江戸末期から明治期にかけての町屋（国登録有形文化財）をめぐる散策がおすすめ。

貝塚寺内町

国登録文化財

〔御財印の進呈場所〕甘党喫茶 佐林
貝塚市北町 20-18（南海本線「貝塚駅」下車 徒歩 6 分）
【定休日】日曜日、年末年始

孝子村だった明治5年（1872）に開設され、明治41年（1908）に現在地に移設。往時の面影を残す木造校舎だが、児童数減により休校。現在は谷川瓦などを紹介する「岬の歴史館」として活用されている。

岬の歴史館（旧孝子小学校）

一般公開

泉南郡岬町孝子 498（南海本線「孝子駅」下車徒歩 2 分）
【休館日】月曜日・火曜日、祝・祭日、年末年始

阪南市内に残る唯一の蔵元で、「浪花酒造」を今も営む。大正5年（1916）築、間口11間にも及ぶ主屋（店舗兼住宅）などの10件が登録有形文化財。塀に桟瓦で屋根を葺き、敷地建物とともに、旧尾崎村の景観を今に残す。

浪花酒造（成子家住宅）

一部公開（営業日のみ）　国登録文化財

〔御財印の進呈場所〕浪花酒造直売所
阪南市尾崎町3-13-6（南海本線「尾崎駅」下車徒歩 5 分）
【休館日】年始のみ